

小学校・中学校 国語



群馬県教育委員会事務局



本日の内容

- 1 令和5年度学校教育の指針
～国語科で学びを深める授業改善のポイント～
- 2 授業改善のポイントを「言葉に着目して吟味する」とした背景
- 3 授業改善のポイントを具現化するために
～本日の2つの授業を基に～

1 令和5年度 学校教育の指針（国語科）について

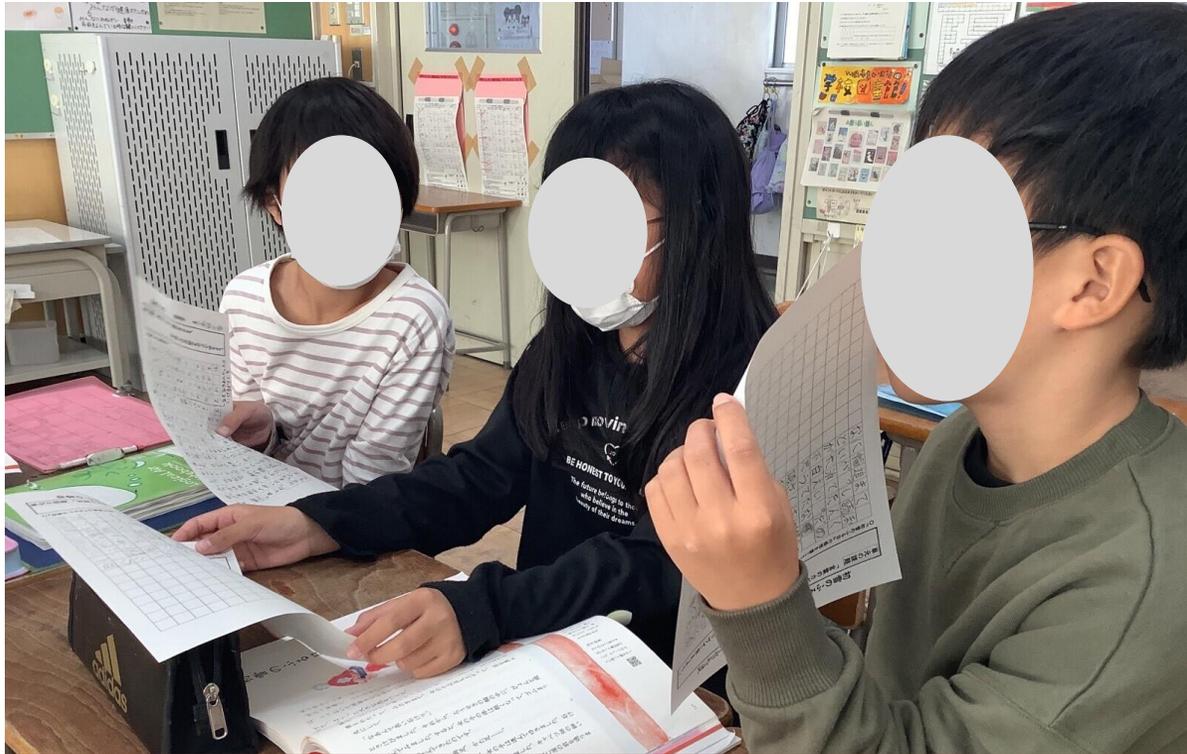
各教科等で**学びを深める**授業改善のポイント

国語

単元の課題解決に向けて、話や文章を理解したり表現したりしたことを、言葉や文、図表を根拠として挙げながら、**言葉に着目して吟味する**ための交流活動を設定しましょう。

本日の授業では…

上陽小学校



言葉に着目して吟味する活動
「自分の心が強く動いたか」という観点
で前時までに読み取った「言葉のカギ」
を比較し、作品の魅力を一番象徴する叙
述を決めた

玉村中学校



言葉に着目して吟味する活動
大切なちょうを自分の手でつぶした
「僕」の行動とその裏にある思いについ
て、表現の効果に着目して交流し、自分
なりの解釈をもった

2 授業改善のポイント設定の背景

語彙が乏しいなあ
もっと語彙が増えれば、
自分の考えが伝わる
文章になるのになあ.....



相手に誤解されることの
ないように、その場に応じ
たふさわしい言葉を使っ
てほしいのだけれど...



言葉による見方・考え方 とは



言葉で表される話や文章を、意味や働き、使い方など言葉の様々な側面から総合的に思考・判断し、理解したり表現したりすること、また、その理解や表現について、改めて言葉に着目して吟味すること

言葉による見方・考え方を働かせるとは



言葉の様々な側面から思考・判断し、
理解・表現すること や

言葉に着目して吟味する
こと で

対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、
使い方等に着目して捉え直したり問い直したりして

言葉への自覚を高める

2 授業改善のポイント設定の背景

実際の授業の場面では

「対象と言葉、言葉と
言葉の関係を、言葉
の意味、働き、使い方
等に着目して捉え直し
たり問い直したりする」
とは？

言葉にこだわり、言葉を手掛かりに
考え、試行錯誤するような言語活
動

言葉に意識が向くような意図的な
問い掛け

言葉への自覚を高める



言葉への自覚が高まると

語彙が増えてきたな。
自分の思いを的確に
伝える言葉を使っ
ているぞ。

言葉を上手に使うことで
人間関係が円滑になっ
たわ。



語彙の量、そして質の確保

2 授業改善のポイント設定の背景

言葉を意識的に見る 言葉に敏感になる

抽象的な概念を表す語句
心情を表す語句
辞書的な意味と文脈の意味
類義語・対義語・多義語
和語・漢語・外来語 など

自分の言葉として表現できる

今日の全校集会で、校長先生が人と人との出会いのすばらしさについて話してくださった。話の中に出てきた「一期一会」という言葉がとても印象に残った。

ノートに書いておこう。
ぼくも使えたらいいな！



朝読書で読んだ本の中で、男の子がおじいさんの大切なものを持ち出した時、「大目玉をくらった」ってあったけれど、意味がちょっと分からなかった。メモをしておいて、あとで国語辞典を引こう！



本日の授業では・・・

上陽小学校

<本時のめあて>

自分の感じた作品の魅力を一番象徴する「言葉のカギ」を決めることを通して、本文の叙述と感じたことを結び付けることができる。



児童が伝える作品の魅力（例）

「うさぎの白は、春の色」と歌ってうれしい気持ちになったとき、私も同じように「うれしい気持ちになること」がこの作品の魅力だな。

読むこと : 文学的文章
「初雪のふる日に」

言葉への自覚を高めるために

作品の魅力をポップで伝える

叙述 + 感じたこと → 作品の魅力

叙述に着目して、自分の伝えたい作品の魅力とその理由を吟味する

本日の授業では・・・

玉村中学校

<本時のめあて>

大切なちょうを自分の手でつぶした「僕」の行動とその裏にある思いを考えることを通して、表現の効果を自分なりにまとめることができる。



僕の行動に対する生徒の解釈（例）
「粉々に」という言葉から僕の最後の行動には、怒りというより自分自身を厳しく罰するような、強くて深い後悔が込められているな。

読むこと : 文学的文章
「少年の日の思い出」

言葉への自覚を高めるために

未来の自分に作品の解釈を読書記録で伝える

表現の効果から自分なりに解釈する

心情が伝わる語句に着目し、「僕」の行動の裏にある思いについて、解釈を吟味する

3 授業改善のポイントを具現化するために

- 児童生徒が言葉に立ち返ることができる発問と問い返しをする
- 全ての領域で、必要感のある言語活動を設定する

3 授業改善のポイントを具現化するために



児童生徒が言葉に立ち返ることができる発問と
問い返しをする



全ての領域で、必要感のある言語活動を設定する

児童生徒が言葉に着目できる発問・問い返し

一問一答で終わっていませんか？

表現された言葉の目的や意図をじっくり考えられるよう、「さらに深める発問」で吟味させましょう。

〇〇かもしれないな…

関連付け

他に同じことを伝えている文は、ありますか？

比較

これらを比べて、気付いたことはありますか？

選択

どれが自分の考えにふさわしいですか？

さらに！

なぜ、…
どうして、…
あなたは、…
他にも…

確かに、〇〇だ！

□□だと思うな

**まとめ・振り返りの場面
既習事項を確認する場面**

□□だと思っていたけど、△△だった！

本日の授業では・・・

上陽小学校



文章を読んで理解したことに基づいて、
感想や考えをもつ

【指導事項 C(1)オ】

玉村中学校



文章の構成や展開、表現の効果について、
根拠を明確にして考える

【指導事項 C(1)エ】

どのような発問で、どの言葉に立ち返らせるか・・・

発問（問い返し）の内容の精選

【上陽小学校のねらい】

自分の感じた作品の魅力を一番象徴する「言葉のカギ」を決めることを通して、本文の叙述と感じたことを結び付けることができるようにする。

【玉村中学校のねらい】

大切なちょうを自分の手でつぶした「僕」の行動とその裏にある思いを考えることを通して、その表現の効果を自分なりにまとめられるようにする。

作品の魅力とそれを象徴すると思える叙述を伝え合う。

収集したちょうをつぶした時の「僕」の思いが最も伝わる表現とその理由を考える

他の叙述と比較

なぜ、その「言葉のカギ」が、魅力が一番伝わるのですか？

さらに深める発問

自分の考えの形成

行動に込められた思いについて、あなたはどうか考えますか。

児童生徒が吟味するための場面と時間の確保

教師が「何を読み取らせたいか」ではなく、
児童生徒が「どのように読み取れるようになるか」の視点

児童生徒が「気付き・考える」過程を大切にする

- ・最終的に答えを出すだけでなく、児童生徒が「思考し、判断し、表現する」活動の中で得られる語彙の広がり

児童生徒が思考する時間を確保する

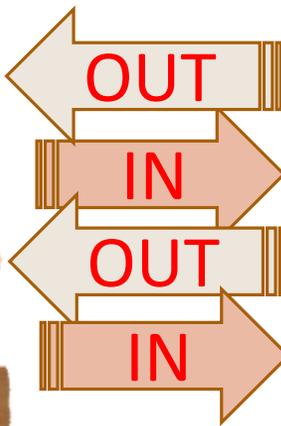
- ・児童生徒が思考している時の「沈黙」の中での語彙の広がり

交流活動の在り方

対話的な場面をつくる

~~生産性のない対話~~

活動あって学び無し



問い直し
再構成
新たな知識
考えの形成

※思考を深めるための発言の取り上げ方※

一人の発言から **関連、補足を問う**
理由、根拠を問う（全員で考える）
意図的な指名や揺さぶりで深める

3 授業改善のポイントを具現化するために

- 児童生徒が言葉に立ち返ることができる発問と問い返しをする
- 全ての領域で、必要感のある言語活動を設定する

3 授業改善のポイントを具現化するために

「ごんぎつね」の学習を終えて.....



「ごんぎつね」の話は、特に、最後悲しかったよ。兵十がごんを鉄砲でうって殺してしまったんだ。そのあとにこれまでごんが兵十のために、栗や魚をもってきてくれたことが分かったんだ。



最後の場面は悲しかった。兵十はごんを鉄砲でうったあと、ごんがこれまで自分のためにやってくれたことを知り、後悔している気持ちを煙で表しているんだ。登場人物の気持ちは、情景に着目すると分かることもあるのだな。

内容理解にとどめない!

3 授業改善のポイントを具現化するために

単元の課題の立て方

【 **A** 】 をして(～ができるように)、
【 **B** 】 をする。

A→(1)指導事項 身に付けさせたい資質・能力

B→(2)言語活動例 児童生徒の実態に合った言語活動

〈例〉

- ・「事例を挙げて相手に分かりやすく伝わるように、学校生活の楽しさをスピーチしよう」
- ・「図表やグラフを効果的に使って、自分の考えを伝える環境ポスターを作ろう」
- ・「登場人物の設定や物語の展開の仕方に着目して、『やまなし』の魅力を伝え合おう」

3 授業改善のポイントを具現化するために

言語活動が具体化されることで

- 指導事項に示された**資質・能力**を育成するために**効果的**
(身に付けさせたい力に合わせて思考・判断・表現する場面がある)
- 児童が言語活動に興味をもち、**主体的な学びにつながる**
(言語活動そのものがイメージしやすく見通しがもてる)
- スモールステップ**を踏むだけで**授業が終わらない**
(目的に沿って試行錯誤しながら、児童自ら学習を進める)

▼活動があっても学びがないという授業も

本単元では…

【上陽小学校の単元の課題】

自分の感じた作品の魅力を、相手に分かりやすくポップで伝えよう。



ポップで作品の魅力を伝えるために、まず自分が魅力を見付けないと…

【玉村中学校の単元の課題】

場面の展開や表現の効果、語り手に着目して作品を読み深め、未来の自分へ向けての読書記録を作ろう。



未来の自分が読むのか……。楽しみだな。作品を読むときには、表現の効果を考えながら読まなくちゃな。自分の考えがうまくまとまるといいな。

読むことの必要感

本単元では・・・

【上陽小学校の単元の課題】

自分の感じた作品の魅力を、相手に分かりやすく**ポップ**で伝えよう。

【玉村中学校の単元の課題】

場面の展開や表現の効果、語り手に着目して作品を読み深め、未来の自分へ向けての**読書記録**を作ろう。

なぜ、**ポップ**や**読書記録**を設定したのか

【ポップの特徴】

- ◎紙面に制限がある
 - 内容をコンパクトに表現
 - 観点に基づいた交流がしやすい
 - 感じ方の違いに気づきやすい
- ◎本と一緒に提示する
 - 相手意識が高まる

【読書記録の特徴】

- ◎残せる(後で見返せる)
 - 同じ本の見方の変化
 - 過去の自分の考え方を振り返る
 - 読書の楽しさ

単元の課題解決に向けて

各単位時間をつなげる



学びの
原動力

単元や題材の課題

単位時間の学習

単位時間の学習

単位時間の学習

見通し

課題の解決(目標の達成)

方向性

育成を目指す資質・能力

知

活用できる

学びを結び付けて
単元全体を振り返り

何を
学んだか

どのよう
に
学んだか

単元の課題解決に向けて

はばプラⅡ「国語の学習過程」

つかむ	<p>1 単元の課題を把握する。</p> <p>◇教材文やモデル文等と出合い、単元の学習に興味や関心をもつ。</p> <p>【単元の課題】 〈必要感のある言語活動〉</p> <p>◇既習事項や実生活の体験等を想起しながらゴールの姿に向かうための大体の流れをつかむ。</p>
追究する	<p>2 単元の課題の解決に向け、<u>単位時間ごとに</u>追究する。</p> <p>単位時間</p> <p>【めあてをつかむ】</p> <p>◇各単位時間のめあてに対して、個で考える。 ◇ペアや少人数での交流活動を行い、互いの考えを伝え合う。 ◇学級全体で、各グループの交流活動で出された意見や考えについて確認し合い、新たな気付きをもつ。</p> <p>【まとめ・振り返りをする】</p> <p>単位時間 単位時間 単位時間</p>
まとめる	<p>3 単元の学習を振り返る。</p> <p>◇単元の課題について、学ぶ前と後との変容を自覚するとともに、今までの学習のポイントを学級全体で共有する。 ◇学んだことを、他の学習や日常生活でどのように活用できるかを考える（一般化）。</p> <p>単元全体の振り返り</p>

<上陽小学校を例に・・・>

【上陽小学校の単元の課題】

自分の感じた作品の魅力を、相手に分かりやすくポップで伝えよう

○話の大筋をつかみ、各自が疑問に感じたことを伝え合う

○白うさぎの列に巻き込まれた場面と、もとの世界に戻った場面を比較しながら、「わたし」の描写に着目して読み、心情の変化を捉える

○各自が疑問に感じたことを解決し、伝えたい作品の魅力を決める

○自分の感じた作品の魅力を一番象徴する叙述とその理由を決める

○自分の感じた作品の魅力を伝えるポップを作成する

1単位時間
どうしの
つながり

授業が進むごとに、相手に
分かりやすいポップが書け
そうになってきたぞ！

振り返りの工夫

1 単元の課題を知る。
2 作品『初雪のふる日』の全体を知る。
3・4 女の子の気持ちについて考える。
5・6 疑問を解決するシリーズ (グループで話し合う)
7 魅力を伝える『言葉のカギ』を決める。
8 ポップ、帯、紹介文から選んで作成する。
9 できてしまったものをみんなで読み、『初雪のふる日』を振り返る。

ポップ 本文の言葉
・文は短い。=わかりやすさやインパクトが大事
・おすすめが書ける。

初雪のふる日
言葉のカギにして、感想や考えをもち、ポップや帯、紹介文の中からふさわしい方法を選んで、自分の考える作品の魅力を伝えよう。

初雪のふる日はどんな話かまとめよう。

中心人物	女の子	登場人物	たばこ屋のおばあさん おばあさん 一人の年よりよもぎ
時期・季節	秋の終わりの寒い日	場所	村の一本道

○どんな話かかんたんに書いてみよう。(あらすじ)
女の子が白うさぎにさくらわねえつになる話

○初雪のふる日の疑問や気になることを書いてみよう。
よもぎはだれがサ落としたの？
おばあさんはなぜ雪うさぎのことを知っているの？
なぜ女の子は、うさぎのわねに入りましたか？
どこからうさぎは来たの？
白うさぎはなぜ消えたの？
なぜだれも白うさぎと女の子に気が付かないの？

「少年の日の思い出」の振り返りシート
各授業で感じたこと、わかったこと、疑問点などをメモしていこう
※黄色の部分に入力する！改行したい場合は「ALT+Enter」

2時間目の感想
授業の中で分かったこと、作品の内容について新しく気づいたこと、新たな疑問などをメモしておこう。

3時間目の感想
授業の中で分かったこと、作品の内容について新しく気づいたこと、新たな疑問などをメモしておこう。

最初は、最後僕がなぜ自分の蝶たちを一つ一つ指で粉々にしたのか疑問に思うようになった。また、やっぱりメールのたったひとつの出来事で人の性格などを判断し、その人と仲良くするかを決める性格は悪いと仲良くするかを決める性格は嫌いだと思った。また、僕に粉々に潰された蝶たちが可愛そう。また、蝶集めは蝶を殺すということだから、やめたほうがいいと思った。

学習の過程を振り返り、蓄積していく

おわりに

単元構想のポイント

- ①適切な言語活動の設定
- ②めあて、学習の見通しの明示
- ③指導事項・指導領域の焦点化
〔知識及び技能〕〔思考力，判断力，表現力等〕
- ④既習事項を活用する学習
- ⑤「できた」「わかった」の実感・振り返り
- ⑥日常生活・社会生活への広がり

おわりに

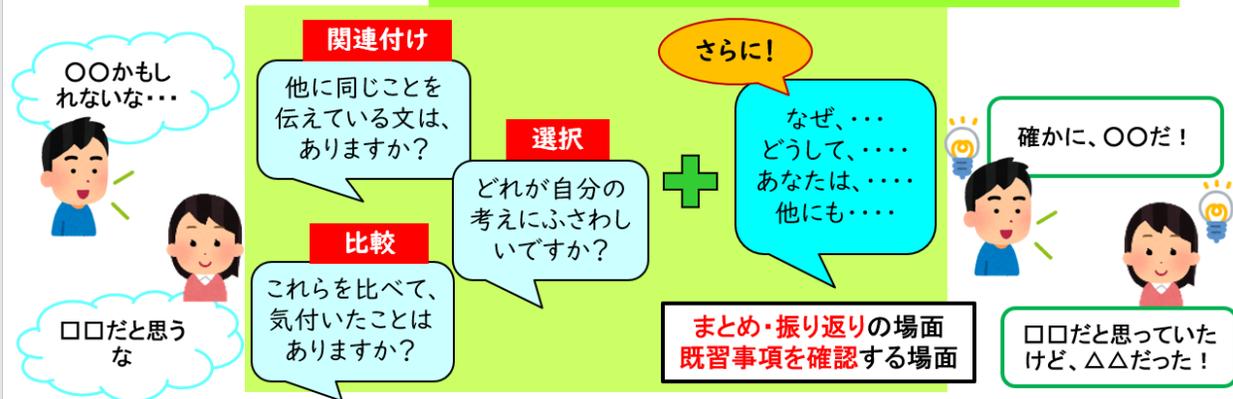
本日のまとめ

- 児童生徒が言葉に立ち返ることができる発問と問い返しをする
- 全ての領域で、必要感のある言語活動を設定する

児童生徒が言葉に着目できる発問・問い返し

一問一答で終わっていませんか？

表現された言葉の目的や意図をじっくり考えられるよう、「さらに深める発問」で吟味させましょう。



参考 全国学力・学習状況調査説明会資料より

3 授業改善のポイントを具現化するために

単元の課題の立て方

【 A 】をして(～ができるように)、
【 B 】をする。

A→(1)指導事項 身に付けさせたい資質・能力
B→(2)言語活動例 児童生徒の実態に合った言語活動

〈例〉

- ・「事例を挙げて相手に分かりやすく伝えるように、学校生活の楽しさをスピーチしよう」
- ・「図表やグラフを効果的に使って、自分の考えを伝える環境ポスターを作ろう」
- ・「登場人物の設定や物語の展開の仕方に着目して、『やまなし』の魅力を伝え合おう」